※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人の一生を生涯発達の視点で捉え、家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活についての現状を認識させ問題点を探らせる。実習・実験により食生活、衣生活に必要な基礎的な知識を技術と理論に基づいて習得させる。現代の消費生活の課題について認識させ、消費者として責任を持って行動できるようにする。
・プリント学習やグループ討論などを通じて、「聞く→考える→伝える」力を養う。
・実習を通じて、自立して生活が送れるように、主体的に社会生活に参加できるように、コミュニケーション力を養う。

２　学習の到達目標

・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身身に付けるようにする。
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3) 様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	活動　家庭科の学び方・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	・家庭科の学び方 ・生活に生かそう ・自分の意見を文章にまとめよう	a:ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 b:自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けてホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出
	生涯を見通す	1人生を展望する 2目標を持って生きる	A:自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理について理解しているとともに適切にできる。生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 b: 生涯を見通した自己の生活、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、生活設計について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて生涯の生活設計について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出

※令和４年度以降入学生用

	人生をつくる	1人生をつくる 2家族・家庭を見つめる 3これからの家庭生活と社会	a:生涯発達の視点で青年期の課題について理解している。家族家庭の機能と家族関係について理解している。家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題やかかわりについて理解している。 b: 男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、また、家庭や地域のより良い生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	 課題提出
	衣生活をつくる	1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 4衣生活の文化と知恵 5これからの衣生活	a:ライフステージや目的に応じた被服の機能と着想について、また、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解している。被服の計画・管理に必要な技能について理解しているとともに、適切にできる。健康で快適な衣生活に必要な情報の収集整理について理解しているとともに、適切にできる。 b: 被服の機能性や快適性、目的に応じた着装について、安全で健康や環境に配慮した被服の管理について、また持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト 被服実習作品 ミシンテスト	テスト 課題提出	課題提出 被服実習提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	超高齢社会を共に生きる	１超高齢・大衆長寿社会の到来 ２高齢者の心身の特徴 ３これからの超高齢社会	a:高齢者を取り巻く社会環境について理解している。高齢期の心身の特徴について理解している。高齢者の尊厳と自立支援や介護について理解している。生活支援に関する基礎的な技能について理解しているとともに適切にできる。 b: 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出
	共に生き、共に支える	１私たちの生活と福祉 ２社会保障の考え方 ３共に生きる	a:生涯を通して家族・家庭を支える福祉や社会的支援について理解している。 b: 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支えあって生活することの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて共生社会と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出

※令和４年度以降入学生用

後期	食生活をつくる	１食生活の課題について考える ２食事と栄養・食品 ３食生活の選択と安全 ４障害の健康を見通した食事計画 ５調理の基礎 ＊調理実習５回（10月～２月） ６食生活の文化と知恵 ７これからの食生活	a:ライフステージに応じた栄養の特徴、食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。健康や環境に配慮した食生活や食品衛生について理解している。自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能について理解しているとともに適切にできる。おいしさの構成要素について理解している。 b: 食品の調理上の性質、食品の安全、自己や家族の食事、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活、持続可能な社会を目指して主体的に行動できるようなライフスタイルについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト 調理実習	テスト 課題提出	課題提出 調理実習参加状況 振り返りシート
	子供と共に育つ	1命を育む 2子供の育つ力を知る 3 子供とかかわ 4子供との触れ合いから学ぶ 5これからの保育環境	a:乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育について理解している。子供を取り巻く社会環境や子育て支援について理解している。乳幼児に適切にかかわるための基礎的な技能について理解しているとともに、適切にできる。 b: 子供を生み育てることの意義、子供の健やかな発達のために親や家族、地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて子供の生活と保育について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出

※令和４年度以降入学生用

	住生活を作る	1住生活の変遷と住居の機能 2安全で快適な住生活の計画 3住生活の文化と知恵 4これからの住生活	a:防災など安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。適切な住居の計画・管理に必要な技能について理解しているとともに、適切にできる。 b: 住居の機能や快適性、防災などの安全に配慮した住生活や住環境について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて子供の生活と保育について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出
	経済生活を営む	１情報の収集・比較と意思決定 ２購入・支払いのルールと方法 ３消費者の権利と責任 ４生涯の経済生活を見通す ５これからの経済生活	a:消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定について理解している。契約の重要性について理解している。消費者保護の仕組みについて理解している。家計の構造や家計管理について理解している。生活における経済と社会とのかかわりについて理解している。生活情報を適切に収集・整理できることについて理解しているとともに、適切にできる。消費者の権利と責任を自覚して行動することについて理解しているとともに、適切にできる。 b: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて生活における経済の計画や、消費行動と意思決定について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な生活を営む	１持続可能な社会を目指して	a:生活と環境とのかかわり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b: 安全で安心な生活と消費、また持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフサイクル について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて持続可能なライフスタイルと環境について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出
	これからの生活を創造する	１生活をデザインする	a:人の一生について様々な生き方があることを理解している。生涯を通じて生活課題に対応し、意思決定をしていくことの重要性について理解している。自立した生活を営むために、必要に情報の収集や整理について理解しているとともに、適切にできる。 b: 生涯を見通した自己の生活、ライフスタイルと将来の家庭生活および職業生活、生活設計について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しより良い社会の構築に向けて生涯の生活設計について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度